



シリーズ② 私が輝く職場

今月号は、1969年の設立以来、車載用電子部品を主力として国産自動車の約1割のシェアを誇る北一電気株式会社取材。常に挑戦し、進化し続けることが会社のモットー。今後は、医療機器関係や社会インフラ設備、住宅設備など、あらゆる分野への進出を考えているとのこと。社名の由来は「北で一番の会社になる」だとか。社員が一丸となり走り続けている中、今回はその一員である木村さんにお話を聞きました。

協力



北一電気株式会社
(松沢40番地8)
☎60-1222

<https://hokuichi-e.com/>



親兄妹が近くにいるのはやっぱり安心でも、暖かいところに住むのも夢です(笑)

木村 直美さん
(七湊/45歳)

輝く女性を募集中!

地元で働きたいという理由で入社した、産休・育休を経て職場復帰したなど、社会進出した女性従業員の掲載を募集しています。

問い合わせ	地域経済振興課 ☎53-2111 (内線3611)
記事ID	0055004

ハッピーパートナー企業も募集しています!



入社して何年目ですか

12年目になります。

入社のきっかけは

夫の仕事の関係で神奈川県に引っ越しましたが、Uターンすることになり、地元で仕事を探していたところ募集がありましたので応募しました。

仕事の内容を教えてください

主に総務、経理系の仕事を担当しています。社員の入退社の手続きや傷病手当の申請、備品の手配、勤怠管理など多岐にわたります。その他、法律改正に対する対応や新しいシステムの導入なども担当しています。また、来客対応なども行っています。経理関係の業務は、正確さが求められるので慎重に行っています。

会社の良いところは

一緒に働いている人は良い人ばかりなので、そこが一番良いです。コロナ禍ではありますが、仕事が忙しく、ありがたいことだと思います。

女性として働く職場の環境は

子供の行事などで休む時も、気を使わないで休むことができます。出産した女性の皆さんも育休取得後に復帰されています。

地元で働く理由は

親兄妹が近くにいるので、何かあった時に助け合えるのがいいと思います。

休日の過ごし方は

スーパージョージアが好きなので家族で行ったり、近所に温泉もあるので、たまに行ったりしています。

村上市のおすすめスポットは

山北地域の伊豆野です。最近行ったのですが、県境が住宅街のご真ん中であって面白かったです。

今後の目標は

勉強することは嫌いではないので、子どもが独立して自分の時間が増えたら、資格取得などに時間を使いたいと思います。コロナが終息したらニューヨークに行ってみたくです。できることなら太平洋側の暖かいところに移住してみたいです。

